

2026 年 2 月 16 日

BYD Japan Group 広報部

BYD、待望の軽自動車「BYD RACCO」専用サイトを公開

2026 年夏の発売に向け情報配信を開始

- 「BYD RACCO」は、日本の軽自動車規格に合わせた専用設計で登場。
- 人気のスーパーハイト系ボディにスライドドアを標準装備した、まったく新しい軽自動車の電気自動車（BEV）
- 前輪駆動（FWD）を採用し、航続距離はスタンダード仕様で 200km 超、ロングレンジ仕様で 300km 超を目標に設定



BYD Auto Japan 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：東福寺 厚樹、略称：BAJ）は 2026 年 2 月 16 日（月）11 時から、BYD 初の待望の軽自動車「BYD RACCO（ビーワイディー ラッコ）」の情報を発信する公式専用サイトを公開します。これ以降、順次「BYD RACCO」の関連情報などを追加していく予定です。

■ 日本の暮らしに寄り添った軽自動車の導入準備が本格化

BAJ は昨年 10 月に開催された Japan Mobility Show 2025 以降、関西（大阪）・福岡・札幌など、全国各地で行われたモビリティショーに「BYD RACCO」を展示。ご来場いただいた多くのお客様にご覧いただき、日常での軽自動車の使われ方やご要望などを伺うなど、着々と日本への導入準備を進めています。今回の公式専用サイトでは、以下のようなコンテンツを公開します。

<コンテンツ内容>

- 日本導入の理由
- RACCO のネーミングの由来
- デザインハイライト（BYD のデザイン哲学・内外装デザインなど）

- BYD RACCO 開発ディレクターが語る開発コンセプト

※以降、順次コンテンツを追加予定。

- お客様の強いニーズを採用した「軽」の電気自動車

「BYD RACCO」は、「Cool The Earth by 1 Degree（地球の温度を 1℃下げる）」という、BYD が掲げる企業ミッションの下、日本の日々の生活にもっとも適したクルマとして企画・開発されました。

「BYD RACCO」は、いつでも、どこでも、誰でもが気軽に、快適に、環境にも優しく使える、電気動く軽自動車です。開発に際しては、日本のお客様の強い要望である背が高く、電動スライドドアが付いた、スーパーハイト系ワゴンにしました。これにより、運転のしやすさ、乗降のしやすさだけでなく、荷物の出し入れや、明るく広い室内空間など、多くのお客様のニーズにお応えできる 1 台に仕上がっています。

- 電気自動車ならではの力強い走りと十分な航続距離

「BYD RACCO」の駆動方式は前輪駆動（FWD）。搭載するバッテリー容量は、スタンダード仕様が約 20kWh、ロングレンジ仕様は約 30kWh です。気になる航続距離も、スタンダード仕様が 200km 超、ロングレンジ仕様では 300km 超を目標としており、日々の移動から少し長めの移動でも、十分カバーできる電気動く軽自動車を目指しています。

- 商品企画部 担当部長／CK プロジェクトリーダー 田川博英 コメント

「BYD RACCO」は、日本の暮らしの中で自然に使っていただける電気走る軽自動車を目指し、準備を進めているモデルです。公式専用サイトでは、完成した姿だけでなく、どのような考え方で開発を進めているのか、その背景も含めて少しずつお伝えしていきたいと考えています。日本のお客様の声に耳を傾けながら、丁寧に仕上げていく過程も含めて、ご覧いただければ幸いです。

▶ **BYD の新しい軽自動車「BYD RACCO（ビーワイディー ラッコ）」公式専用サイト**

URL : <https://byd.co.jp/byd-auto/racco-special/>

BAJ は今後も、日本の暮らしや利用シーンに寄り添いながら、「BYD RACCO」に関する情報を、わかりやすく丁寧に発信してまいります。

※本リリースの掲載内容は画像を含め、2026 年 2 月 16 日（月）現在の情報です。内容は変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

本件に関するお問い合わせ：

BYD Japan Group お問い合わせフォーム : <https://byd.co.jp/contact/>